



「平成26年8月丹波市豪雨災害義援金」にご協力をお願いします



義援金名：平成26年8月丹波市豪雨災害義援金
口座番号：みなと銀行 本店営業部 普通1871585
口座名義：日本赤十字社兵庫県支部 支部長 井戸敏三
受付期間：平成27年3月31日(火)まで

その他：(1)みなと銀行の本支店間の窓口(ATM含む)による振込手数料は無料となります。(インターネットバンキング、ダイレクトバンキングを除く)
(2)所得税などの税控除を受ける際には、受領証が必要です。

義援金や受領証などについては、振興課までお問い合わせください。TEL: 078-241-8921 (直通)

お寄せいただいた義援金は、手数料などを一切いただきず、全額を被災された方々へお届けしています。



イベントのお知らせ

阪神・淡路大震災から20年。兵庫県支部では、この経験と教訓を踏まえいつまでも忘れることなく、次なる災害に備えるため、1月17日に「ひょうご安全の日のつどい」に参加し、2月にはひょうご安全の日推進事業「災害対応力を身につけよう!!」を開催します。ぜひご来場ください。

「ひょうご安全の日のつどい」

日時/1月17日(土) 場所/なぎさ公園(神戸市中央区脇浜海岸通)
ミニ救急法講習会/10:00~12:00、14:00~15:00(予定)
心肺蘇生とAEDの使い方、dERU(国内型緊急対応ユニット)展示
豚汁の炊き出し/13:00~15:00 ※なくなり次第終了
当日は、阪神・淡路大震災や東日本大震災での日本赤十字社の災害救護や復興支援活動紹介パネル、赤十字ポスターコンクールの受賞作品なども展示します。ぜひご覧ください。

「災害対応力を身につけよう!!」

日時/2月7日(土)12:00~14:00
※10:30からの総合訓練は見学可能です。
場所/淡路島東浦サンパーク(淡路市久留麻2743)
内容/心肺蘇生とAEDの使い方、三角巾を使ったきずの手当、担架搬送、非常食の無料配布など、楽しみながら災害対応力を身につけていただけます。

講習のご案内

お問い合わせは、お電話またはホームページで 078-241-1499 (講習係)

人が倒れていたり、苦しんでいるのを見かけた...そのような場面に居合わせたとき、「心配だけど、どうしていいかわからなかった」そんな経験はないでしょうか?

日本赤十字社では、万が一の病気やけが、災害などに備え、大切な人の命を救う方法や健康で安全に暮らすための知識や技術を身につけてもらう講習をおこなっています。

救急法救急員養成講習 (2日間のセット講習)

2/21④・22④ いずれも9:30~17:30

救急法基礎・救急員養成講習 (3日間のセット講習)

3/1④・7④・8④ いずれも9:30~17:30

科目別講習 講習の一部のテーマを短時間で習得できます。

幼児安全法講習

子どもに起こりやすい事故の予防と手当について
3/10④ 10:00~12:00

幼児安全法講習

子どもの一次救命処置
3/10④ 13:00~15:00

救急法講習

きずの手当
3/10④ 10:00~12:00

救急法講習

骨折の手当と搬送法
3/10④ 13:00~15:00

◇申込期日は開催日(初日)の一月前までです。◇会場は日本赤十字社兵庫県支部です。



「海外たすけあい」募金キャンペーンにご協力いただきありがとうございました。お寄せいただいた募金総額は、次号でご報告させていただきます。

ひょうごの赤十字

2015 January 1月



平成27年新春メッセージ

- 防災意識を高めるために
- 日本赤十字社とANAがつなぐ、二つの復興
- 再結成から20年 さらなる活動の推進を目指して
- 円滑な活動のために
- 「丹波市豪雨災害義援金」ご協力をお願い
- イベントのお知らせ
- 講習のご案内



日本赤十字社 兵庫県支部
Japanese Red Cross Society

〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1丁目4番5号

078-241-9889
電話

パソコン

赤十字 兵庫 検索



平成27年新春メッセージ

～安全安心と元気の創造～

新年あけましておめでとうございます。

今年は、阪神・淡路大震災から20年の節目を迎えます。未曾有の災害から得た経験と教訓を発信し続けるとともに、復興を成し遂げてきた兵庫の力を、未来に向かって、世界に向かって、一層力強く発揮する好機之年としようではありませんか。

昨年末、国政の新たな体制が固まりました。人口減少の克服や東京一極集中の是正など地方創生の動きの本格化に向けて、今こそ、地方が主導する国づくりを進めるべき時です。兵庫の多様性を生かし、個性ある地域の発展に全力を尽くしていきましょう。

第一は、安全安心の確保。

地震、津波対策のほか、昨年8月の豪雨災害を踏まえた風水害への備えを強化します。また、2025年問題を見据えた福祉・介護・医療の充実や、子どもや高齢者などの課題に対応して、地域社会での暮らしの安心を確保します。

第二は、活力ある地域経済。

グローバル市場でも存在感を示すオンリーワン企業の育成や、産業としての農業の振興、ブランド化を進めます。子育て環境の充実とあわせ、女性、若者、高齢者、障害者など多様な人材の社会参加を促し、人口減少社会の活性化をめざします。

第三は、地域の元気の創造。

山陰海岸ジオパークなど多彩な地域資源を活用した広域観光圏の形成や、交通ネットワークなど社会基盤の整備、淡路花博2015花みどりフェアの開催などにより、地域活性化と内外との交流拡大を図ります。

ふるさとへの愛着と20年間の復興の歩みを基礎に、柔軟な発想と地域主導の行動で直面する課題に挑み、兵庫の新時代を切り拓いていきましょう。

地震乗り越え 未来をめざす ふるさと兵庫 新しき創造



支部長／兵庫県知事

井戸敏三



日本赤十字社とANAがつなく、 二つの復興

～東北から神戸ルミナリエへ～

12月6日、ANAグループのご協力のもと、東日本大震災で被災された親子20組を神戸に招待し、阪神・淡路大震災を経験した方々との交流会を開催しました。

この交流会は、20年前の震災により大きな被害を受けた神戸の街が復興に向けてどのように歩んできたのか、被災者同士が実体験を語り合うことで復興への力としていただけるよう、また、子どもたちには未来への希望を描ききっかけになることを願い開催。

東北の皆さんを出迎えたのは、阪神・淡路大震災やその後の復興を経験した兵庫県声の図書赤十字奉仕団と、ボランティアとして参加した姫路赤十字看護専門学校学生奉仕団の皆さん。

交流会では、普段は口にする事のない胸の内を語り合い、「離れていても災害に遭って困ったり悩んだりしている私たちを温かい気持ちで支援していただき、感謝の気持ちでいっぱいになった」という感想もいただきました。

交流会後は、復興の象徴である「神戸ルミナリエ」を見学し、壮麗な光の芸術に感嘆の声が上がりました。

子どもたちからは「震災に負けないで自分たちにできることをしようと思った」「神戸の復興した姿を見て、自分たちもがんばらなきゃと思うようになった」など、復興への希望が込められた感想がありました。



心がなごみ笑顔も見られた交流会



神戸ルミナリエの光に感嘆する親子



再結成から20年 さらなる活動の推進を目指して

～西宮市赤十字奉仕団大会を開催～

11月19日、西宮市フレンドホールにて、西宮市赤十字奉仕団大会が開催されました。

同奉仕団は昭和44年に結成されましたが、阪神・淡路大震災を機に組織の再結成がおこなわれ今年で20年を迎えます。

信条朗読のあと、安野照子委員長は「自然災害が多発する中、私たちが実践している赤十字活動を充実させていくことで団員の防災意識も高まっていくのではないのでしょうか。今後も団員一丸となり、より一層の努力を重ねていこう」と力強く挨拶されました。



挨拶する安野委員長



防災意識を高めるために

～県広域防災センター実戦デモに参加し、赤十字活動を紹介～

11月30日、防災などの関係機関の連携を深め、県民の防災意識を高めるために開催された「県広域防災センター実戦デモ」に参加。災害発生時にいち早く被災地で治療をするためのdERU(国内型緊急対応ユニット)の仮設診療所テントの展示や三角巾を使った包帯法、キッズ救護服とナース服での記念撮影などをおこないました。

来場した方々は、仮設診療所内の医療セットや無線機、衛星電話などを興味深く見学されたり、知っていれば役立つとケガをした手や頭、骨折した腕の吊り方など三角巾を使った包帯法を学ばれていました。また、救護服とナース服を着た子どもたちが、お父さんお母さんがかまえるカメラに向かってポーズする姿に「なりきっている子どもがかわいかった」などの声が寄せられ、楽しく赤十字活動に触れていただきました。



三角巾を使った手の包帯法を学ぶ参加者



円滑な活動のために

～「第2回赤十字防災ボランティア実践研修会」～

12月13日、個人登録の防災ボランティアや特殊赤十字奉仕団員など30名が参加し、今年度2回目となる「赤十字防災ボランティア実践研修会」を開催しました。今回は、災害が起きていざ活動するとなったときに、炊き出し用の大釜やテントなどの資機材を円滑に使うための取扱い方や注意点、知っておくと便利で役立つロープの結び方を学びました。

参加された方々は、質問したり練習を重ね、災害時には即座に発揮できるよう取り組んでいました。



ロープワークに取り組む参加者

いのちと健康を守る赤十字活動は、皆さまからお寄せいただく活動資金で成り立っています

活動資金にご協力をお願いします

郵便局・ゆうちょ銀行からもご協力いただけます

口座記号番号：01110-0-1136
口座加入者名：日本赤十字社兵庫県支部

※窓口で取扱いの場合、振込手数料は無料です。